

ぐるり30

～自治調査会だより～

2024
7

NO. 130

[発行日]
2024.7.1



「織物のまち」として栄え、豊かな伝統文化が育まれてきた八王子の魅力を感じることができる施設

【写真提供】八王子市 【撮影場所】桑都テラス

Contents 7月の内容

- ▶ オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト 市町村の取組紹介・・・2
町田市 生物多様性保全促進事業
小金井市 省エネチャレンジ事業
大島町 地域に花を咲かせる事業

- ▶ 多摩交流センターだより
・広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介・・・3
クラシック音楽と語りで贈る「青い鳥」
- ▶ わたげ探偵！！こんなの調べてみました！
～島に行ってみよう 利島～・・・4
- ▶ 多摩・島しょ 散歩deアート ～八王子市～・・・8



◀ 当調査会のホームページに
バックナンバーも掲載して
います。ぜひご覧ください。



◀ 「TAMA ebooks」にも掲載して
いただいています。「ぐるり」で
検索のうえ、ご覧ください。



公益財団法人

東京市町村自治調査会



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された取組を紹介します。



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

① 町田市 生物多様性保全促進事業

町田市は、生物多様性の保全についての意識啓発に取り組んでいます。その一環で、生物多様性や里山保全活動に興味を持つきっかけづくりとして、2023（令和5）年11月18日に「里山をしよう！わくわく★どんぐりクラフト in 野津田公園」という体験型のイベントを開催しました。イベント当日は、公園内の散策、里山についての講話の後、採取したどんぐりや落ち葉を使用した工作体験を実施しました。イベントの様子については、市ホームページで公開していますので、ぜひ一度ご覧ください。

【問合せ先】町田市 環境共生課 TEL 042-724-4391



② 小金井市 省エネチャレンジ事業

小金井市では、市民及び事業者の省エネ意識の向上を図り、二酸化炭素排出の主原因となる電力及びガスの使用量削減を目的として、各家庭や事業所ごとにエネルギー使用量の削減にチャレンジする取組「省エネチャレンジ事業」を行っています。参加者からチャレンジした報告書を提出してもらい、エネルギー使用量の削減率に応じたポイントの付与及び記念品（さくらギフトカード）の贈呈を行っています。

この事業を継続し、より多くの市民及び事業者の省エネ意識を高め、地域からの二酸化炭素排出量削減を進めていきます。

【問合せ先】小金井市 環境政策課 TEL 042-387-9817



③ 大島町 地域に花を咲かせる事業

大島町では、町内各地区の婦人会が主体となり、地域に「花を咲かせる事業」を実施しています。地域ごとの主要道路沿いにある花壇や空き地などに季節の花を咲かせ、島民や観光客にやさらぎと小さな感動を与えることや、地球温暖化の防止を目的に事業を実施しています。また、海岸線などに多く繁殖している「クロマツ」などの景観や防風林としての役割を保つため、松枯れ対策も実施しています。

これらの事業を継続し、花と緑にあふれたまちづくりとさらなる地域コミュニティの活性化をめざしていきます。

【問合せ先】大島町 政策推進課 TEL 04992-2-1444





多摩交流センターだより

広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介

クラップクラップVol.15 クラシック音楽と語りで贈る「青い鳥」

日時 2024年8月2日(金)
第1回公演 14:30 開演 (14:00 開場 0歳から入場可)
第2回公演 17:30 開演 (17:00 開場 4歳から入場可)

場所 八王子市南大沢文化会館 交流ホール

内容 赤ちゃんから大人まですべての人に本格クラシック音楽の演奏を語りとともに楽しみいただけます。今回の演目は「青い鳥」。目に見える喜びが本当の幸せなのか。チルチルとミチルと一緒に旅をしながら探してみませんか。

迫力満点の演奏と語りで皆様を想像の世界へお連れします！！

●出演・演出・脚本

永井由里 (ヴァイオリン) / 鶴川久美子 (フルート) / 深澤花音 (マリンバ) / 湯浅ちさ (ピアノ&構成)
/ 山元顕 (語り) / 志村ひかる (チルチル) / 藤間健 (演出) / 鶴川龍史 (脚本)

●プログラム

ドヴォルザーク=クライスラー「ユーモレスク」/ プーランク「フルートとピアノのためのソナタ 第1楽章」
/ ショパン「ノクターン2番」/ ストラヴィンスキー「火の鳥」より第1楽章 (ピアノ独奏版) 他

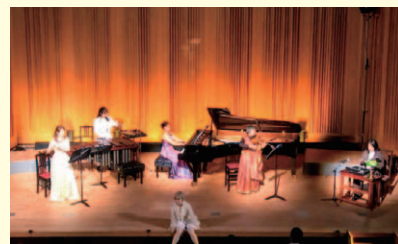
入場料 大人 2,000 円 (中学生以上) / 子ども 1,000 円 (ひざ上のお子様無料)

チケット 音楽工房アトリエ MINS/ イープラス にて販売

主催 音楽工房アトリエ MINS

問合せ 音楽工房アトリエ MINS TEL 042-798-1728

ホームページ <https://atelier-mins.com/>



ホームページ▶

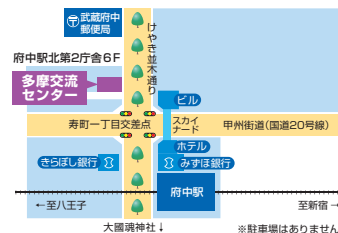
「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町 1-5-1 府中駅北第2庁舎 6F TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



サマージャンボ

7億円

1等前後賞合わせて7億円
1等5億円、前後賞各1億円

サマージャンボ

5千万円

当せんのチャンス広がる!

1等前後賞合わせて5,000万円
1等3,000万円、前後賞各1,000万円

この宝くじの
収益金は、
区市町村の明るく
住みよい
まちづくり
に使われます。

PCやスマホで
ネット購入!

宝くじ公式サイト
<https://www.takarakuji-official.jp/>

7月8日(月)同時発売

各1枚 300円 ●発売期間 7月8日(月)~8月8日(木) ●抽せん日 8月23日(金) 2024年市町村振興宝くじ 公益財団法人 東京都区市町村振興協会



わたげ探偵!!こんな調べてみました!

～ 島に行ってみよう としま 利島 ～

©不定期掲載

多摩・島しょ地域には、隠れた魅力や知られざる不思議がたくさんあるんだ!
今回は**利島**にどんなスポットがあるか旅してみたよ♪

カケンマ浜

火山の噴火でできた利島は、絶壁に囲まれていて砂浜がなかったんだ。そこで2015(平成27)年に人工の砂浜であるカケンマ浜が作られたんだよ。

このきれいな白い砂は神津島から運んできてるんだって。実は、最初は利島の砂を使ったんだけど、海水が茶色く濁ってしまったんだ。その話を聞いた神津島が砂を分けてくれたんだって!いい話だな～ ✨



利島郵便局で風景印をもらってきたよ。
島の全景と船、そして利島のシンボルである椿の花があしらわれているよ。

旅の記念に家族やお友達に手紙を書いたら素敵な思い出になること間違いなしだね!

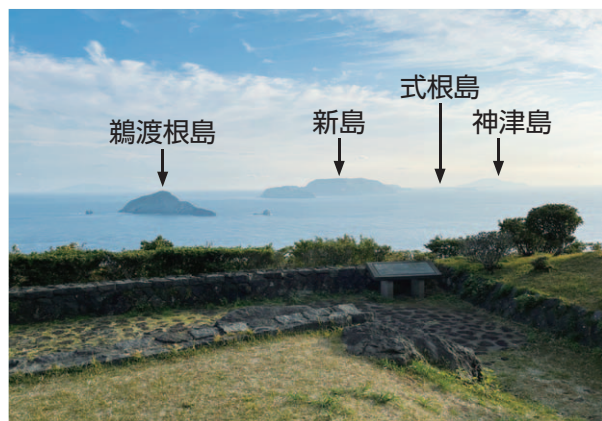
利島の集落



利島はとにかく坂の島!

集落の中にも急な坂道が多いんだ。移動が少し大変だけど、案内板がたくさんあって道に迷うことはなかったよ。

小中学校の校庭は島の貴重な広場で、お祭りなどのイベントにも使われているんだって。



南ヶ山園地

南ヶ山園地の展望台からは天気がいいと新島、式根島、神津島などが一望できるよ。海風が気持ち良くて、東京とは思えない景色が広がっているよ。

とってもきれいな景色だから、あずさわ阿豆佐和けのみことほんぐう氣命本宮(一番神様)とおおやまこやまじんじや大山小山神社(二番神様)のお参りの合間にぜひ立ち寄ってみてね!





◆アクセス

【航路】

- ・竹芝桟橋から高速ジェット船(東海汽船)で約2時間25分
- ・竹芝桟橋から大型客船(東海汽船)で約9時間40分

【空路】

- ・調布飛行場から大島空港まで小型機(新中央航空)で約25分
- ・大島空港から利島までヘリコプター(東邦航空)で約10分

ワンポイント アドバイス

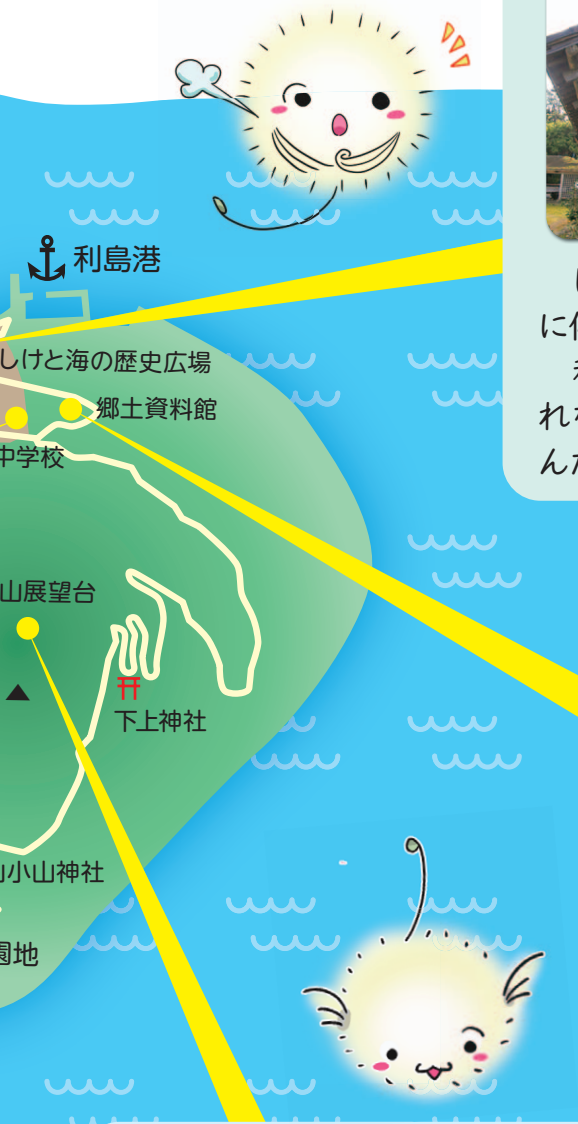
利島への行き方は船とヘリコプターがあるけど、冬は西風の影響でジェット船は欠航になることが多いから、大型客船や大島からヘリコプターで行くのがオススメだよ。

はしけと海の歴史広場



はしけと海の歴史広場では、昔使われていた「はしけ」(沖に停泊した船と島を往復するための船)を見ることができるよ。

利島は入り江がなくて、桟橋が作られる前は島に船を着けられなかったから、船の積荷や乗客ははしけで移動させていたんだって。昔の人の苦勞をしみじみと感じたよ。



郷土資料館

郷土資料館では、島で発掘された銅鏡や土器を見たり、利島の歴史や、特産品である椿油の作り方などを学んだりすることができるよ。

なんと実際に土の中から掘り出された土器や黒曜石をさわれるコーナーもあったよ！



宮塚山

標高508mの宮塚山の山頂近くにある展望台だよ。山登りをして眺める絶景は感動もひとしお！

この日は富士山まで見渡すことができたよ。

山頂は、眺望はないけど落ち着いた雰囲気♪



わたげの利島深堀りポイント!

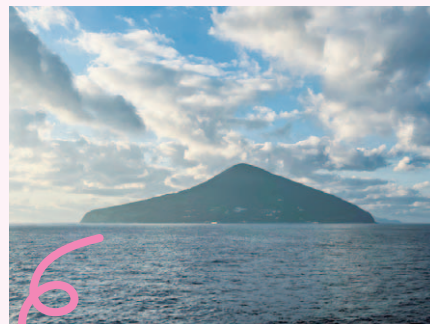


1 やさしい島の人々

利島に着いて最初に驚いたのは、子供たちが元気よく挨拶をしてくれること! 登校中の小中学生が「おはようございます★」って挨拶してくれたよ。

そして、道端でどこに行こうか考えてたら、おばあちゃんが「道に迷ったのかい?どこに行きたいんだい?」と声をかけてくれたよ。とっても優しく親切💡

さらに、利島で分からないことを島の人たちに質問すると、みんな丁寧に教えてくれたよ。心が温まったな〜♪



きれいなピラミッド型の利島

2 貴重な水

利島は水源がなくて、水がとっても貴重だったんだ。神津島には、利島に水が少ない訳を伝えた神話まであるんだよ。

昔は、四手(シデ)という竹を結ったものを木の幹に結びつけて、雨水をかめの中に集めていたんだ。それでも水が足りないときは、近くの島から水を運んできていたんだって。四手は郷土資料館や、島の南側にある3つの神社(阿豆佐和気命本宮、大山小山神社、下上神社)で見ることができたよ。

ほかにも、南ヶ山園地では、かつて山の一部に集水シートを敷き詰めて、そのシートを伝った雨水を貯めて水源として利用していた跡を見ることが出来るよ。本当に水が貴重だったことがわかるね。

今では、雨水に加えて海水を浄水する設備もできたから、水が使えるようになってとっても便利になったんだ♪



下上神社の四手とかめ



集水シート跡



浄水場(雨水)



水配りの神話

むかしむかし、伊豆諸島の中心にある神津島にそれぞれの島の神様が集まって、水をどう分けるかを話し合っ、次の日の朝に早い者順で水を配ることになったんだ。でも、利島の神様は寝坊をしまして最後にやってきたから、水がほとんど残っていなかったんだって。

3 海の幸

利島という、前は高級魚介類の代名詞であるイセエビや特大サイズのサザエが特産で有名だったんだ。けれど最近、黒潮の大蛇行の影響なのか、あまり獲れないんだって。それでも運が良ければ食べられるかも…💠ただ、イセエビは6～8月の間、それから満月を挟んだ1週間は禁漁だから注意しよう。

ちなみに、サザエやイセエビの代わりに、キハダマグロやカツオが獲れるようになったそうだよ！



〔利島村HPから引用〕

宿泊する民宿にイセエビが食べられるか聞いてみよう！



満月だとイセエビはあまり動かなくなるんだって。



4 椿

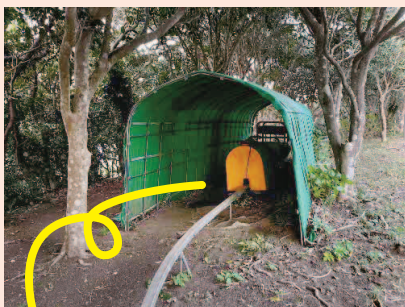
利島は椿油の生産量が日本トップクラスなんだ。江戸時代から200年以上にわたって椿油を生産してきたんだって。島の面積の約80%に椿が植えられているよ。椿は12月中旬から3月中旬が見頃で、地面が花びらで染まる風景は「椿のじゅうたん」と呼ばれるほど冬の利島を彩るんだ。

椿畑では、モノラックという収穫した椿の種や人などを運搬するモノレールを見ることができよ。「坂の島」で重たい荷物を運ぶのに持ってこいだね！

そんな利島では椿油を使った商品を生産しているよ。最近では「利島の明日葉椿油ソース」や「利島の明日葉椿油ラー油」を開発したんだ。「利島の明日葉椿油ソース」をパスタに和えたり野菜をディップしたりして食べてみたけど、癖のない椿油と香りの良い明日葉の相性がばっちりて、とても美味しかったよ。椿油にはオレイン酸という成分が豊富に含まれていて、コレステロール値を下げてくれるんだって。今は椿のビールを極秘！？開発中だそう…💠完成が楽しみだね♪



利島の椿はヤブツバキ



島内に30路線以上あるモノラック



お肉のソテーやお魚のカルパッチョ、ご飯にかけて…色々な使い方が楽しめる“万能ソース”



散歩で訪ねたい身近な芸術・文化のプチ情報をお届け！
 今回はわたげのボクが八王子芸術祭「音響彫刻『Kinonの旅』」と
 「伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2024～」を紹介するよ。

音響彫刻『Kinonの旅』



◆公式ホームページ
<https://www.hachioji-art-festival.com/>
 Kinonの情報が随時ホームページにて更新して
 いきます！

「音響彫刻『Kinon』の旅」は、八王子芸術祭から生まれたプロジェクトで、地域で出会った素材で楽器をつくりながら芸術祭と一緒に八王子市を巡る、八王子を象徴する音のアート作品なんだ。去年、恩方地域の栗の木、ヒノキなどでつくられた楽器は、現在『タヤけ小やけふれあいの里』に置かれているよ。今年はどんな楽器やストーリーが生まれるのか楽しみだね♪

*八王子芸術祭とは…

八王子市内を5つのフィールドに分け2年ごとに各地域を巡る芸術祭。2023（令和5）年は、自然豊かな高尾・恩方地域で第1回目のイベントを開催しました。次回、2025（令和7）年は、北八王子・中野上町地域の“ものづくりField”が舞台となります。八王子市民が主役となって、八王子内外のさまざまなアーティストと交流しながら、共に地域の魅力や価値を創り上げていきます。今後の展開にご期待ください！

◆主催：八王子市
 （公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団

『伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル2024～』



多摩伝統文化フェスティバルでは、普段触れることの少ない多摩地域の伝統文化が八王子市に集まるんだって。いろいろな伝統文化や芸能が楽しめる貴重な機会だからぜひ見に行ってみてね。

〈出演(演目) 予定〉

八王子車人形西川古柳座、説経節の会、八王子芸妓衆、影絵(写し絵)、秋川歌舞伎あきる野座ほか

◆開催日：2024(令和6)年9月28日(土)、29日(日)

◆開催時間：未定

◆開催場所：西放射線ユーロード横山町公園、中町公園、まち・なかギャラリーホール、桑都テラス 他(予定)

◆主催：(公財)東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
 八王子市
 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団

【アクセス】

西放射線ユーロード

- ・JR八王子駅北口から徒歩3分
- ・京王線京王八王子駅中央口から徒歩6分



本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。 問合せフォーム▼

